一般口演 プログラム

グループC

【セッション① 臨床工学・医事】 9:10～10:10	
座長：小笠原 巧人 (JA長野厚生連下伊那厚生病院 透析室副主任)	
1	病理検査室におけるISO15189認定取得の取り組み 飯田市立病院 臨床検査科 ¹⁾ 診療技術部 ²⁾ 病理診断科 ³⁾ イワタ タカヒロ 岩田 貴博 ¹⁾ 園原 政樹 ¹⁾ 吉澤 天馬 ¹⁾ 北原 康宏 ¹⁾ 西尾 昌晃 ¹⁾ 實原 正明 ²⁾ 佐野 健司 ³⁾
2	当地域の透析患者の動向をふまえた腎センターの規模縮小について 飯田市立病院 診療技術部 臨床工学科 ¹⁾ 診療部 腎臓内科 ²⁾ ミヤザワ モトヤ 宮澤 元彌 ¹⁾ 近藤 尚大 ¹⁾ 大原 文香 ¹⁾ 森田 里穂 ¹⁾ 平澤 慎也 ¹⁾ 藤田 識志 ²⁾ 片桐 崇史 ²⁾
3	臨床工学技士が行うスコープオペレーター業務のタスクシフト 飯田市立病院 診療技術部 臨床工学科 タケバヤシ タカシ 武林 隆史 平澤 慎也 金子 達也 近藤 尚大
4	植込み型心臓不整脈デバイス患者の遠隔モニタリングの現状と課題 飯田市立病院 診療技術部 臨床工学科 ¹⁾ 心臓血管センター ²⁾ フクヨ ダイスケ 福与 大介 ¹⁾ 大原 文香 ¹⁾ 前澤 俊也 ¹⁾ 山本 一也 ²⁾
5	輸液ポンプ[IP-100D]更新に関する機種選定および導入後の評価 飯田市立病院 診療技術部 臨床工学科 カネコ タツヤ 金子 達也 伊藤 亜貴彦 岩崎 瞬 大平 聡史 森田 里穂 前澤 俊也 宮澤 元彌 宮崎 由佳
6	当院におけるオンライン診療の取り組み 長野県立木曽病院 事務部 医事課 イロベ フミノリ 色部 文謹 八巻 ちひろ 萩原 まい香 酒井 誉

【セッション② リハビリ・介護福祉】 10:20～11:20	
座長：伊東 秀博 (飯田市立病院 技監)	
7	介護施設での職員の腰痛予防対策の取り組み ～ノーリフティングから考える安心安全な労働環境改善～ JA長野厚生連富士見高原医療福祉センター グループホームひめばら カツラギタクマ 葛城 卓真
8	脳梗塞発症後、病棟スタッフとの連携によりADLが改善した1例 JA長野厚生連北アルプス医療センターあづみ病院 リハビリテーション科 ヤマガキカズフミ 山崎 一史
9	当院リハビリテーション部における地域包括ケアシステムへの関わり －地域活動の実践報告と課題－ JA長野厚生連長野松代総合病院 リハビリテーション部 ¹⁾ 整形外科 ²⁾ ハセガワ ジュンイチ 長谷川 純一 ¹⁾ 半田 敬典 ¹⁾ 小淵 浩平 ¹⁾ 飯田 千晶 ¹⁾ 小林 武雅 ¹⁾ 瀧澤 勉 ²⁾
10	大腿骨近位部骨折術後患者の早期トイレ動作獲得に向けた5年間の取り組み 飯田市立病院 診療技術部 リハビリテーション科 シモダイラエ リカ 下平 絵里香 熊谷 美砂子 古田 裕之
11	NICU長期滞在を余儀なくされた重症新生児仮死の一症例に対する理学療法 飯田市立病院 診療技術部 リハビリテーション科 マキウチアキコ 牧内 昭子 熊谷 結実
12	当院スポーツ外来の紹介 ～約7年間の取り組み～ 飯田市立病院 診療技術部 リハビリテーション科 ¹⁾ 整形外科 ²⁾ ミズノ トモユキ 水野 智之 ¹⁾ 伊坪 敏郎 ²⁾

【セッション③ 薬剤・放射線】 11:30～12:20	
座長：平栗 学 （飯田市立病院 診療部長）	
13	当院におけるレンバチニブの使用状況調査 飯田市立病院 薬剤部 シモダイラタカヒロ 下平 貴弘
14	抗菌薬適正使用体制加算に対する取り組み 松本市立病院 薬剤部 ¹⁾ 感染対策室 ²⁾ 検査科 ³⁾ マルヤマミノル 丸山 稔 ¹⁾ 中田 節子 ²⁾ 池田 美智子 ²⁾ 林 慎也 ²⁾ 原口 育美 ³⁾ 中田 裕美 ³⁾
15	院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコルの運用状況と有用性の評価 飯田市立病院 薬剤部 ツボイテツヤ 坪井 徹也 佐藤 誠一 原 拓也 前島 光廣
16	X線TV装置における焦点検出器間距離（SID）の検討 JA長野厚生連長野松代総合病院 診療放射線部 ¹⁾ 放射線科 ²⁾ 統括院長 ³⁾ カラサワトシキ 柄澤 俊樹 ¹⁾ 松井 良樹 ¹⁾ 田口 雅士 ¹⁾ 村田 理恵 ²⁾ 瀧澤 勉 ³⁾
17	1.5T MRI, Deep Resolve Boost導入前後の画像比較 飯田市立病院 診療技術部 放射線技術科 クワハラハヤト 桑原 勇人 細田 哲夫 井原 翼 松下 翔太 金子 簾